

平成28年度

保護者向けセミナー開催のご案内

～みんなで、一緒に考えよう～

講師による講話のほか、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？

2月のセミナー 平成29年2月18日（土）

セミナー講師：福井県総合福祉相談所 主任

臨床心理士 持田 忠司 氏

テーマ：「ストレスの理解と対処法 ～親子の新しい一歩のために～」

【講師紹介】現在は、「ホッとサポートふくい」で心理相談業務を担当されています。これまで、児童相談所で不登校、非行のご本人、保護者の方への支援に携わってこられました。

時 間：13：30～16：00

対 象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方

定 員：20名（申込み方法：事前に「サポステふくい」までお電話ください。）

場 所：福井県社会福祉センター内

内 容：講師によるセミナー・意見交換ほか

参加費 無料

サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）とは…。

若年無業者の方の職業的自立支援を行う機関です。サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働事業として行っております。

12月開催のセミナーレポート

日 時：平成28年12月17日（土）

テーマ：「親として思いつめていませんか？」

講 師：福井大学学生総合相談室 臨床心理士 前川伸晃 氏

前川先生は、子どもの今の状態に対して、親自身の育て方を悔いたり、過剰な責任を感じているとしたら、どう考えてよいのか、ヒントになる視点や考え方をお話しして下さいました。事例をもとに、生物・心理・社会といった視点から、問題の整理をすると解決の糸口が見えることを示されました。生物学的視点からすると、もって生まれた特性やその時の精神状態を考えます。心理学的視点では、その人の性格や今の心の状態。社会学的視点でいうと、学校や職場の人間関係や環境状態を指します。本人を取り巻く環境といった社会的な要素には、家族との関係も含まれており、育てにくさには、発達障害などの子どもの側の要因もあることが指摘されています。問題は一面を見るのではなく、三つの視点から、適切な支援先を考える参考にします。また、親の責任に関する考察では、日米や海外の国を比較して、日本は親から子どもへの経済的支援や責任・依存が強く、いわゆる自立を妨げるような傾向が見受けられました。

こういったデータの裏付けを基に、親個人として、子育てに過剰な責任を感じる必要はないのではないか、と先生は話されました。その後、グループになり、子どもにできることを考えるために、自分にとって大切な価値観を示すキーワードを3つ選んでもらい、それを選んだ意味を参加者の皆さんに答えてもらいました。皆さんからは、まず、自分の健康に気をつけること、あるがままの子どもを受け入れること、親として頑張ることをやめるといった言葉が出てきました。皆さん、意見を交わす中で、参加者同士共感し合いながら、今できることを考えるヒントを得たようでした。



【お問い合わせ】サポステふくい（ふくい若者サポートステーション）

福井市光陽2丁目3-22
福井県社会福祉センター1F

TEL 0776-21-0311